

# 世界最大級のハラル国際展示会がクアラルンプールで開催 ～「MIHAS 2016」～

シンガポール事務所

ムスリム旅行者の世界的拡大やハラル市場のeコマース化により、ムスリム市場全体が拡大しています。ムスリム訪日旅行客の地方への誘客や地域産品のムスリム市場への販路拡大を狙うには、ハラルの正確な現状理解が不可欠です。

そのため、自治体国際化協会シンガポール事務所は、3月30日から4月2日までクアラルンプールで開催されたマレーシア貿易開発公社（MATRADE）が主催する世界最大級のハラル国際展示会「MIHAS 2016」を視察してまいりましたので、その概要をお知らせします。

## 1 あらゆる分野に関係するハラル

MIHASの入口正面にはマレーシア国際貿易産業省（MITI）やハラル産業開発公社（HDC）などマレーシアへの投資を促進する官庁が巨大なブースを構え、ハラル産業の歴史や現状、マレーシアへの投資の魅力について分かりやすく説明していました。

ハラルはムスリムの生活全般に関わる考え方であることから、食料品が主要品目ではあるものの、医薬品やスキンケア商品なども展示されていました。その他、イスラム金融による銀行、ハラルロジスティクスを掲げる物流企業のブースも見られ、ハラル市場の幅広さを改めて実感しました。

MIHASにはジャパンパビリオンも出展しており、調味料や乳製品をPRしていました。

マレーシアにおけるハラル関連産業の輸出相手国第1位は中国で、日本は第5位です。MIHASでは中国企業の出展が目立ちました。



世界各国からバイヤーが集まる

## 2 ハラル市場の規模拡大と可能性



MIHASのジャパンパビリオン

ハラル産業開発公社によると、2014年に1.8兆米ドルであったムスリム消費は、2020年には2.6兆米ドル規模となると見込まれているとのことで、マレーシア政府はハラル食品産業を発展させるための取組として、「ハラルパーク」と呼ばれるハラル関連の製品やサービスが立地する工業団地への企業誘致を進めています。

投資を呼び込みたいマレーシアとムスリム市場の取込みを進める日本の自治体。今後、どのような連携ができるのか考察し情報発信していきたいと思います。

（佐々木所長補佐 札幌市派遣）